

高等学校等教育改革促進事業に係る申請の概要について

1 本県における申請校と採択の結果について

〔類型1〕 アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援 多度津高校（工業科・水産科）	不採択
農業経営高校（農業科）	不採択
〔類型2〕 理数系人材育成支援 丸亀高校（普通科）	不採択
〔類型3〕 多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保 小豆島中央高校（普通科）	採 択

2 全国の採択状況について

- ・ 5月の申請では、45都道府県から171件の申請があり、69件が採択された。
- ・ 3月の申請における2県6件の採択を合わせ、75件の先導改革拠点が採択されている。

採択された先導改革拠点数	都道府県数
0 件	9
1 件	1 5
2 件	1 2
3 件	8
4 件	3

- ・ 小豆島中央高校は、取組例11拠点の一つとして紹介されている【別添1】

3 今後の方針について

- ・ 採択となった小豆島中央高校における高校教育改革の取組みを推進していく。
- ・ 不採択となった拠点について、審査における指摘事項を精査し、追加公募がなされており、再申請に向けて準備を進めている。
- ・ 高校、関係部局、産業界、大学等、地域など一丸となって、チーム香川として取り組んでいく。

4 不採択拠点の追加公募のスケジュールについて

- ・ 7月下旬頃 公募開始
- ・ 8月10日頃 申請期限
- ・ 9月中旬頃 採択発表

この改革が必要な背景

- 小豆島では**統合で高校が1校**になり、通学距離拡大と進路希望多様化により**島外進学が増加**（令和7年度31%）
- 地域未来への関心を育みながら地理的ハンディキャップを越えて**、生徒の多様な学習ニーズに応える教育体験・教育環境の構築が急務

事業概要（学びの変化）

「地域まるごとラボシステム」で、島全域を活用した学び

- ✓ 学校内だけでなく、自治体や企業の施設を使う「**地域まるごとラボシステム**」を構築
- ✓ **東京農業大学×土庄町×夕陽ヶ丘ホテル**等の**産学連携協定の拠点となる「北浦公民館」**を活用し、スマート農業・水産の課題解決を実践
- ✓ **企業の新規事業関連施設**や**ドローンスクール**で、先端テクノロジーを直接操作・実証
- ✓ 生徒は地域課題を探究するだけでなく、企業の事業実証ともつながらながら、**社会実装まで挑戦**

メタバースと遠隔技術で、離島でも学びの選択肢を拡大

- ✓ 地域課題探究のための仮想空間メタバース「**小豆島探究クエストシステム**」を構築。地域課題をクエストとして掲示し、生徒がアバターで参加
- ✓ アバターロボット「temi」により、**島外の大学生、卒業生、企業の人とも日常的に連携し、離島にいながら**、進学希望者も就労希望者も、**学びの選択肢を獲得**



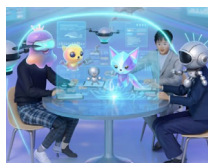
メンターや進学に向けたサポートで進路を切り開く

- ✓ 探究だけでなく、入試対策や基礎学力向上まで支援する**メンター制度**を整備し、卒業生や外部の大学生・専門人材が、学習計画、面接、小論文、資格対策などをサポート
- ✓ 県内の進学校と遠隔でつながり、より**高度な授業や発展講座を受講可能**とするとともに、**香川大学などとの連携**により、単位認定可能な**大学科目の先取り履修**で、個人の希望進路に合わせて最適化

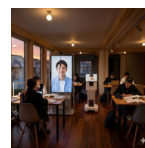


<生徒の1日の流れ（例）※STEAM探究コース所属2年目Aさん>

【8:00】
出勤前の地域住民から探究活動の進捗に関しアドバイスを受ける



【16:30】
サテライトキャンパスにて新商品開発、本格販売前のテストマーケティング、新規事業実証などを実施



【13:30】
スタートアップ企業からアドバイスを受ける



【18:00】
放課後、大学生メンターによる個別指導を受けながら、定期試験や英検対策を行う

高校生の未来の姿（指標の例）

メタバース活用も含め、大学・先進企業等と協働したPBLの実施件数
卒業時点の進路決定率

(現状) (R10) (R13)
4件 ⇒ 10件 ⇒ 20件
90% ⇒ 95% ⇒ 100%



他校への普及方策

- 「小豆島着地型の探究研修」による他校受入
- 地域まるごとラボシステムの他校への展開 等

主な連携機関

小豆島町、土庄町、一般社団法人小豆島・瀬戸内エリアマネジメント協会 等